

【調査速報】弥生時代後期～古墳時代前期の集落跡－高島市上御殿遺跡－

【市町支援事業紹介】中世前期の集落跡を発見！－守山市横江遺跡－

【お知らせ】催物案内－2025年10月～12月－

「あの遺跡は今！ Part32」「レトロ・レトロの展覧会」ほか



【調査速報】

弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡

たかし まし かみ ご てん

－ 高島市上御殿遺跡 －



今回の調査で見つかった上御殿遺跡の竪穴建物

(写真提供：滋賀県)

上御殿遺跡は、高島市安曇川町三尾里・田中に所在し、一級河川安曇川・鴨川の形成した広大な高島平野に立地します。遺跡の北西には継体大王の父・彦主人王の陵墓参考地である田中王塚古墳、南方には全長約45mの前方後円墳である鴨稻荷山古墳などが位置しています。

2008～2014年には、青井川の付け替え工事に伴って行われた発掘調査で、縄文時代中期末～後期初頭の小穴や、古墳時代前期・後期の竪穴建物、古墳時代後期の円墳、奈良時代～平安時代の掘立柱建物のほか、中国北方地域のオ

ルドス式銅剣と関係があると考えられる双環柄頭短剣鍔型をはじめとして、古墳時代～平安時代の祭祀具など、多くの遺構・遺物が発見されました。

2024年からはこの北東側で、ほ場整備に伴う発掘調査を実施しており、竪穴建物21棟と集落域を区画する溝が見つかっています。これらの大半は弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭(2～3世紀)のもので、これまでに判明していたよりも前に、長期にわたって集落が営まれていたことが明らかになりました。

弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡 —高島市 上御殿遺跡—



↑ 詳細資料

●見つかった竪穴建物群

今回の調査で見つかった 21 棟の竪穴建物は、1 棟のみ古墳時代後期（6 世紀）のもので（SH129）、ほかは弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭（2～3 世紀）のものでした。

大きさは、長軸が 6～7m のもののほか、3～4m の小型のがあります。また、平面形状は大半が四角形で、円形または多角形のものもみられます。

調査区の中央部では、このうち 17 棟がまとまって見つかりました。



●集落の境界

竪穴建物群の南側には、幅 0.5m・深さ 0.4m の溝（S69）が見つかりました。溝より南側では竪穴建物が希薄になることから、集落の境界を示す溝の可能性あります。

●他地域との交流を示す出土遺物

竪穴建物からは、たくさんの土器・石製品が見つかりました。このなかには、滋賀県湖東地域でしか産出しない「湖東流紋岩」といって、北近畿地域の特徴を持つ土器などが含まれていて、他地域との交流があったことがわかります。



北近畿地域の特徴を持つ土器

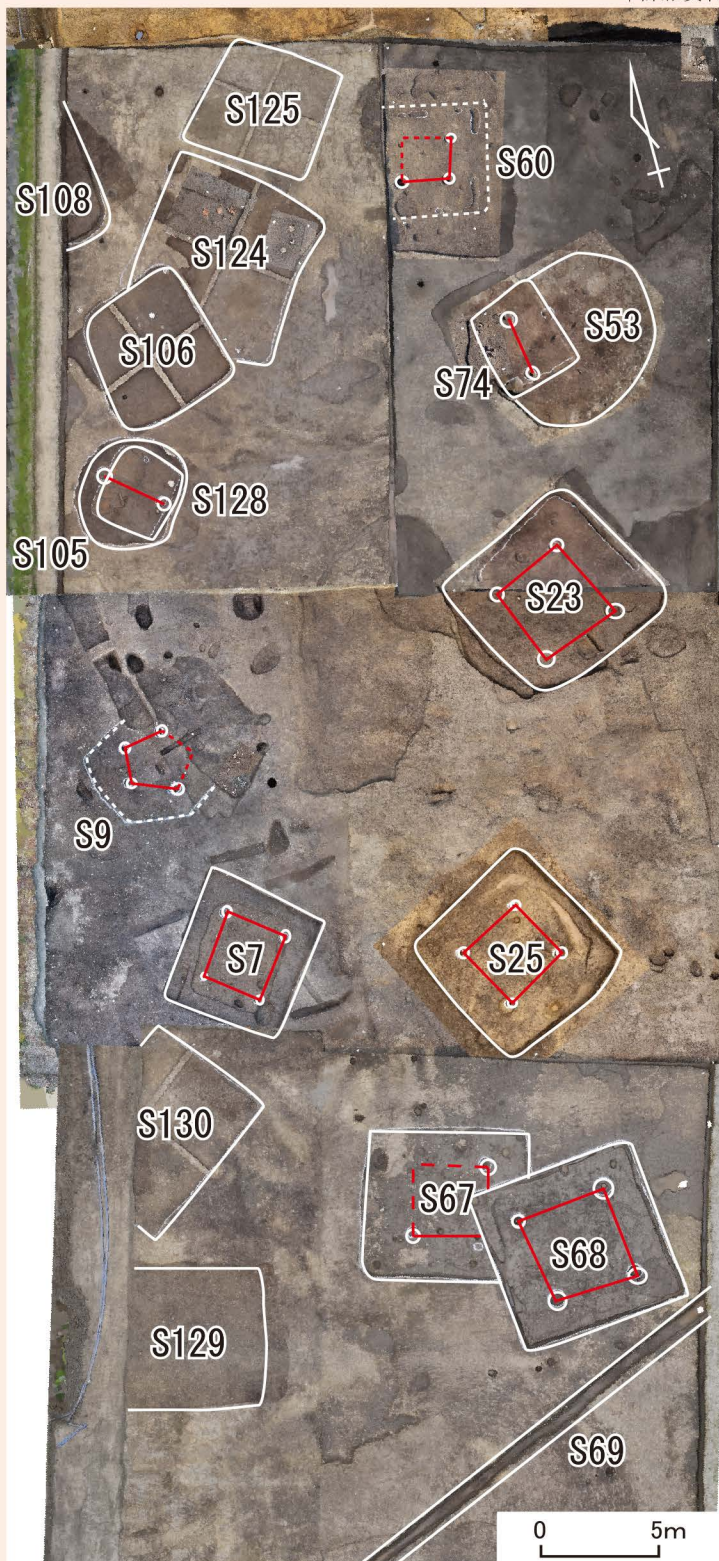


湖東流紋岩製の砥石



●弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭の集落

上御殿遺跡周辺では、古墳時代以降にも集落や古墳がつくられるなど、この地域の中心的な集落として存続してきました。今回の発見によって、これまで知られていた古墳時代以前の、弥生時代後期後半から集落が営まれていたことが明らかになりました。



見つかった竪穴建物群

上御殿遺跡では 2025 年 7 月 19 日（土）に現地説明会を開催し、157 名の方にご参加いただきました。

▼説明会の様子

当日は、見つかった竪穴建物や土器などの遺物を間近に見ていただきながら、調査員が説明し、会場は熱気あふれるものとなりました。



*当協会では、調査の成果を皆様にお伝えできるよう説明会を開催しています。ぜひお立ち寄りください！





●横江遺跡の発掘調査

横江遺跡は守山市横江町・大門町・大林町にかけて広がる遺跡です。1983～1987年に行われた発掘調査では、特に中世後期（鎌倉時代～室町時代）において、散在していた建物群が、溝で区画された中に計画的に配置されるようになる様子が明らかとなり、近江の中世集落を考えるうえで指標となる成果が得られていました。

当協会では、2023～2025年に、守山市の調査支援事業として、工業団地開発に伴う発掘調査（約34,000㎡）を実施しました。今回の調査地は、1980年代の重要な成果が得られた調査地点の南東側隣接地にあたります。

調査の結果、横江遺跡の範囲内では初めての発見となる弥生時代中期（約2,000～1,900年前）の方形周溝墓や、古墳時代（約1,700～1,500年前）を通して長期間にわたり用排水路としての機能が維持されていた大規模な水路跡、中世前期（平安時代後期～鎌倉時代：約1,000～800年前）の掘立柱建物群や敷地を区画する溝などが発見されました。



●中世前期の集落跡

平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物は、60棟近く見つかりました。これらの建物は平安時代後期には調査地の南側に建てられ、鎌倉時代には北側に建てられるようになり、集落が南方から北方へ移動したことがわかりました。

詳しくみると、平安時代には大型の建物と小型の建物がひとつの単位として構成されており、少なくとも3つの単位が認められます。さらに、鎌倉時代には一定のエリアに複数の建物が散在しており、重複して建て替えられている様子が確認されました。

これまでの調査成果をあわせて考えると、横江遺跡では、平安時代後期から室町時代にかけて、集落域が徐々に北方へと移動したことがうかがえます。



2024年度調査地遠景



弥生時代中期の方形周溝墓

●横江遺跡の集落と条里地割

横江遺跡は旧栗太郡域に含まれ、古代の土地区画制度である「条里」の地割（栗太郡条里）が、現在も良好に残っている地域として知られます。

横江遺跡で発見された建物の多くは、これまでみつかったものも含め、この条里の地割と同じ向きに建てられています。このことから、横江遺跡の掘立柱建物が建てられた段階には、調査地周辺で条里地割が整備されていたと考えられます。

今回の調査によって、この地域に現在まで残る地割景観が、平安時代後期にはおおむね形成されていたことが明らかになりました。



平安時代後期の大型建物

(写真提供：守山市)

◆催物案内1 * 問合せ先: 0748-46-4861 (企画整理課安土分室)

「あの遺跡は今! Part32 整理室へようこそ!! 一見て・触れて・感じる考古学」

～埋蔵文化財整理調査成果公開 in 安土～



↑ 当協会

当協会が県立安土城考古博物館内整理室で整理調査をしている遺跡の出土品を、現地調査の写真パネルと調査員や考古学専攻生の詳しい解説付きでご覧いただけます。出土品の接合や実測・注記など実際の調査作業も公開しますので、調査スタッフの熟練のワザをぜひ目の前でご覧ください。

▶【体験】 古代瓦の模様をあしらったキーホルダーの色塗体験や、注記・実測・拓本といった整理調査の体験メニューも用意しています。

たくさんの体験を通じて、過去の時代を感じてみてください!

* 博物館主催の勾玉作り体験も同じ整理室内で開催(「催物案内3」参照)。



↑ 実測体験

← 接合作業のようす



↑ キーホルダー色塗体験

【開催日】 2025 年 10 月 11 日 (土)・10 月 12 日 (日)

【時間】 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)

【申込】 不要 * 体験も不要、随時。

【入場料】 無料 * キーホルダー色塗体験のみ参加費 300 円が必要

【場所】 滋賀県立安土城考古博物館内 整理室
(近江八幡市安土町下豊浦 6678)

* 対象遺跡: 佐和山城跡 (彦根市)、御館前遺跡 (近江八幡市)、横江遺跡 (守山市) 出庭遺跡・手原遺跡・蜂屋遺跡・林遺跡ほか (栗東市)、朽木陣屋跡 (高島市) など



◆催物案内2 * 問合せ先: 077-548-9780 (企画整理課)

「レトロ・レトロの展覧会 - 令和7年度 整理調査事業速報展 -」

～埋蔵文化財整理調査成果公開 in 瀬田～



当協会→

【期間】 2025 年 10 月 1 日 (水) ~ 11 月 10 日 (月)

* 土・日・祝日は休館

【時間】 9:00~17:00 【入場料】 無料

【場所】 滋賀県埋蔵文化財センター 1 階ロビー
(大津市瀬田南大萱町 1732-2)



イヤリング(耳環)
福林寺古墳群(野洲市)出土

当協会が滋賀県埋蔵文化財センターで整理調査をしている遺跡の出土品を、現地調査写真や解説パネルとともにご覧いただけます。

* 対象遺跡: 塩津港遺跡 (長浜市)、妙福寺遺跡 (彦根市)、長野遺跡 (愛荘町)、四十九院遺跡・八町古墳 (豊郷町)、江頭南遺跡・阿弥陀寺遺跡 (近江八幡市)、福林寺古墳群・比江遺跡ほか (野洲市)、六地藏遺跡 (栗東市) など

◆催物案内3 * 問合せ先: 0748-46-2424 (滋賀県立安土城考古博物館) * 入館は 16:30 まで。

安土城考古博物館



日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
10/11(土)~11/16(日)	9:00~17:00	展示	令和7年度秋季特別展 安土築城450年記念「天下人の城 安土城」	無	不要	入館料	当館 企画展示室
10/11(土)・10/12(日)	10:00~12:00 13:30~15:30	体験	ワークショップ「勾玉を作ろう」	各15名	不要	500円	当館 整理室
10/18(土)	14:00~15:30	講座	記念対談「天下人の城 安土城」 講師: 藤田達生氏(三重大学教育学部特任教授)・稲葉継陽氏(熊本大学永青文庫研究センター長)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
11/1(土)	13:30~15:00	講座	秋季特別展開連講座「安土城の復元を考える2025」 講師: 木戸雅寿氏(滋賀県参事員)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
11/2(日)	13:00~16:00	探訪	城郭探訪「安土城跡」	20名	要	2000円	安土城跡
11/9(日)	13:30~15:00	講座	秋季特別展開連講座「瓦研究から見た安土城」 講師: 佐藤佑樹(滋賀県立安土城考古博物館学芸員)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
11/23(日)	10:00~16:00	探訪	城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」	10名	要	2000円	観音寺城跡と桑實寺
11/29(土)~2/1(日)	9:00~17:00	展示	特別陳列Ⅳ「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」	無	不要	入館料	当館 企画展示室
11/29(土)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅱ『滋賀の縄文・弥生・古墳時代』①「滋賀の縄文時代-湖底遺跡と滋賀里遺跡・穴太遺跡-」 講師: 中村健二(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
12/6(土)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅱ『滋賀の縄文・弥生・古墳時代』②「滋賀の弥生時代-大岩山銅鐸と伊勢遺跡-」 講師: 進藤武氏(野洲市歴史民俗博物館)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
12/13(土)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅱ『滋賀の縄文・弥生・古墳時代』③「滋賀の古墳時代-新開1号墳とその周辺-」 講師: 宮村誠二(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
12/14(日)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅲ『豊臣秀長と近江』「豊臣秀長の生涯~秀吉の補佐役か~」 講師: 太田浩司氏(淡海歴史文化研究所所長)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム

◆催物案内4 * 問合せ先: 077-522-8179 (滋賀県立琵琶湖文化館)

琵琶湖文化館



日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
開催中~11/30(日)	9:30~17:00	展示	滋賀県立美術館常設展・滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展 「滋賀県立美術館・滋賀県立琵琶湖文化館 名品選」	無	不要	入館料	滋賀県立美術館 (大津市)
10/15(水)	14:00~15:30	講座	花湖さんの打出のコツチ⑦「近江の書跡・典籍、古文書とその魅力」 講師: 寺前公基 (滋賀県立琵琶湖文化館)	200名	要	無料	コラボしが21(大津市) * サテライト会場有